

令和6年度学校評価自己評価【中間】

神杉小学校

学校教育目標 「豊かな人間性と確かな学力をもち、自ら伸びる子どもの育成」

やさしい子

かしこい子

たくましい子

達成度	達成値	評価	A ≥ 100	80 > C ≥ 60
	×100 目標値		100 > B ≥ 80	60 > D

A 適切である
B 概ね適切である
C あまり適切でない
D 適切でない

	中期経営目標 【担当部】	具体的な取組・方策	評価指標	評価 状況	中間評価 達成状況	改善策	学校関係者評価 (評価) (記述)	
【知】 確かな学力	主体的な学びの創造により学力の向上を図る。	【学びの構えづくり】 ・学習規律、学習の準備を徹底させる。 【学びの基盤づくり】 ・算数の時間や「やるゾウタイム」に繰り返し計算練習やタブレットドリル等を行い、基礎学習を徹底させる。 ・読書タイム、家庭読書を充実させ、読書量を増やす。	①「つけておきたい学習規律、低中高学年のねらいを達成できた」肯定的評価 70%以上にする。 ②三次市学力到達度検査において、全国平均+7点以上にする。 ③算数科単元末テスト 80 点以上の児童の割合を 70%以上にする。 ④「本を読むのは楽しい」肯定的評価 70%以上にする。	B	①「つけておきたい学習規律、低中高学年のねらいを達成できた」 肯定的評価 授業開始・終わりの挨拶について 81% 話の仕方・話し方について 13% ③算数科単元末テスト 80 点以上の児童の割合 80.2% ④「本を読むのは楽しい」 肯定的評価 83.5%	・発表は誰に伝えるのか、相手を意識させる。 ・みんなの方を向いて発言すること聞く姿勢ができるまで待つことを徹底していく。 ・授業、「やるゾウタイム」等で複数体制が組める時間を作り、学校全体で学力の定着を図る。 ・読書タイム、図書室環境を充実させ読書を楽しむ時間を確保する。	B	・今回の自己選択・自己決定を取り入れた算数の授業をみて「この授業でいいのかなあ。子どもたちは理解しているのかなあ」と思いました。わずかな時間ですし前後の流れを知らないのではとも言えませんが、これが基本なのか、これで学力がつくのかと不安になりました。 ・学級のこどもたち同士で、自主学習の取り組みを高め合っている姿を見る機会があり、とても素敵なことだと思いました。学校全体に広がればいいと思います。
		・指導者が児童の学びをファシリテートする力の向上を図る。 ・単元のゴールを明確化し、児童がゴールに向けて自分で考え、解決できる授業づくりを行う。 ・自主学習を中心とした家庭学習の充実を図る。	①一人1回算数科の授業提案を行い、研究を深め授業づくりに生かす。 ②家庭学習や自主学習の取組を学期に1回異学年で交流する。 ③「以前に比べて自分の自主学習がかわった」肯定的評価を 80%以上にする。	B	①1学期3学年、2学期1学年が授業提案を行い、研究を深めた。また、講師に指導をいただくため6学年授業を行った。2、3学期に2学年の授業提案を行う予定である。 ②家庭学習や自主学習の取組を学期に1回以上異学年で交流できた。 ③「以前に比べて自分の自主学習がかわった」 肯定的評価 79%	・RST の結果分析を生かした授業づくりを行う。 ・自己選択をする場面を授業の中でつくる。 ・家庭学習、自主学習の内容の向上を図り、児童の主体的な学び、また学力の定着、向上につなげる。		
【徳】 豊かな心	規範意識、礼儀正しく節度ある言動、思いやりの心を身につけさせ、望ましい集団作りを進める。	・児童に様々な場面でリーダーを経験させ、リーダーとしての自覚と責任を持たせる。 ・児童会活動、縦割り班活動の充実。	毎学期、振り返りシートにおける、肯定的評価 ①リーダーとしての自覚と責任 75%以上 ②委員会活動（5.6年生）70%以上 ③縦割り班活動 80%以上 にする。	A	①リーダーとしての自覚と責任肯定的評価 83.3% ②委員会活動（5・6年生）責任をもって行う 肯定的評価 93.3% ③縦割り班活動 ・他学年に進んで声をかける 肯定的評価 83.3% ・活動は楽しい 肯定的評価 93.3% 平均 88.3%	・児童会の月目標や通学班の目標を意識できるよう、掲示や振り返りの場を意図的に設定する。 ・委員会活動では、活動内容の精選をし、児童が新たな取組を企画・運営できるようにする。 ・委員会活動、縦割り班活動での高学年の評価を日常的に行う。	B	・毎年福祉学習の一環として葉ボタンの植え付け、栽培をして、一人暮らしの高齢者に届けています。一緒に種をまき、植え替えをするのは私たちも楽しいのですが、年度によって子どもたちの取り組みが違うように見えます。意欲的に関わる子もいる一方、全体的にはお客さんになっている子が多くいように見受けられます。単なる行事で終わらないよう、気持ちというか、豊かな心につながるような作業にしていきたいと思っています。 ・スマイルカードをたくさんもらえる子とあまりもらえない子とでは、カードの差を比べた時、もらえない子の気持ちが気になります。
		・友だちや上級生、下級生の良いところを認め、励まし合う活動を充実させる。 ・全職員が毅然とした対応を徹底する。	①毎学期、振り返りシートにおける、スマイルカードに関する肯定的評価を 85%以上にする。 ②登校時や来客の方に対し、自分から進んで立ち止まって会釈してあいさつができる児童の割合を 80%以上にする。	C	①スマイルカード肯定的評価 68.4% できなかった児童が8.8% ②レベル5のあいさつ肯定的評価 86.5%	・書く視点を明確にしたり書かれたカードの掲示を工夫したりして、取組を日常的に意識させる。 ・塩町中学校区の挨拶標語の期間に合わせて、レベル5の挨拶が意識できるように働きかける。		
【体】 たくましい体	体力の向上と生活習慣の改善を図る。	・体育科の授業や委員会等の取組による意欲的な体力づくりを行う。	・体づくりに関するアンケートの肯定的評価 80%以上にする。	A	・委員会活動で主体的に運動朝会を企画し、ふれあい班で体づくりに取り組んだ。	・運動朝会の内容の工夫。	B	・多くの子が月曜日の朝と金曜日の朝がだるそうに来ることに気が付きました。休み明けと週末のせいかと思いますが、生活習慣にもあると思います。 ・タブレット端末の宿題などがあれば、メディア使用時間、平日2時間は難しいと思います。
		・「弁当の日」の取組を工夫し継続する。 ・メディアとの付き合い方についての指導や啓発活動を充実させる。	・生活リズムチェックで、メディアの使用時間自己目標を達成できた児童の割合を 75%以上にする。	B	・メディアの使用時間自己目標達成率約 65%	・規則正しい生活習慣や上手なメディアとの付き合い方、メディアによる視力への影響等についての啓発を行う。		
開かれた学校	信頼と協調に支えられた地域とともにある学校づくりを推進する。	・HPや各種通信などで情報を積極的に発信し、保護者と連携を深める。 ・学校の相談機能を充実する。（迅速で丁寧な組織的対応） ・業務改善の推進、職員のタイムマネジメント力の向上を図る。	①保護者の肯定的評価[3・4]を 80%以上とする。 ②職員の超過勤務月 45 時間以内を 80%にする。	A	①HP で日々の児童の様子を毎日発信した。学校だより、学級だより等で児童の頑張り、また生徒指導事案等の課題も積極的に発信し、それに対する学校としての取組や、子どもたちが安心・安全に通うことのできる学校づくりのための方針を示した。 ①生徒指導事案や児童・保護者からの相談に対しては、担任だけでなく、組織で共有し対応に努めた。【保護者アンケート「学校の様子がわかる」肯定的評価 98%「教職員への相談のしやすさ」91%】 ②教育の充実に向け、教職員の働き方改革に対する意識改革が進んだ。合わせて業務改善についても職員で検討しながら進めている。（現在退庁最終時刻 18:25 水曜日 17:30）	・今後も、積極的な情報発信に努める。 ・問題の未然防止に取り組むと共に早期発見・早期対応ができるようにするため、生徒指導・教育相談研修の充実を図る。 ・引き続き児童や保護者が安心して相談することがきる体制づくりを進める。 ・今後も衛生委員会を計画的に実施し、限られた時間の中で、教職員が児童の学力向上に向けた取組に専念できるように検討を行っていく。	A	・民生委員という立場でこの会に参加していると思っています。学校から子どものこと、家庭のことと具体的な相談を受けたことはありませんが、市の子育て相談員からは連携する立場から何回か相談・実態の報告を受けたことはあります。学校で判断していただき、連携が必要であれば声をかけていただきたい。 ・今年度から学校ホームページで子どもたちの様子を毎日更新してくださるおかげで、学校の様子がよくわかるようになりました。
		・地域の方と主体的な連携を深める。 ・コミュニティ・スクールに向け、小中連携して組織的に準備を進める。	①地域人材を活用した学習活動を仕組む。 ②コミュニティ・スクール発足に向けた準備会を 3 回以上開催する。	A	①学びの応援団の活用により、児童の教育活動の充実が図れてきている。 ②準備会は 2 回実施。来年度に向け、学区として児童に付けたい資質・能力などについて熟議を行っている。	・地域・保護者の方と目標の共通認識を図り、児童の教育活動の充実のために、今後も地域人材の活用を計画的に図っていく。		

新 継続課題 新しい取組 レベルアップ